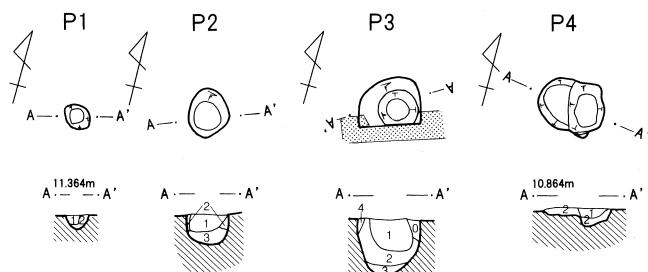
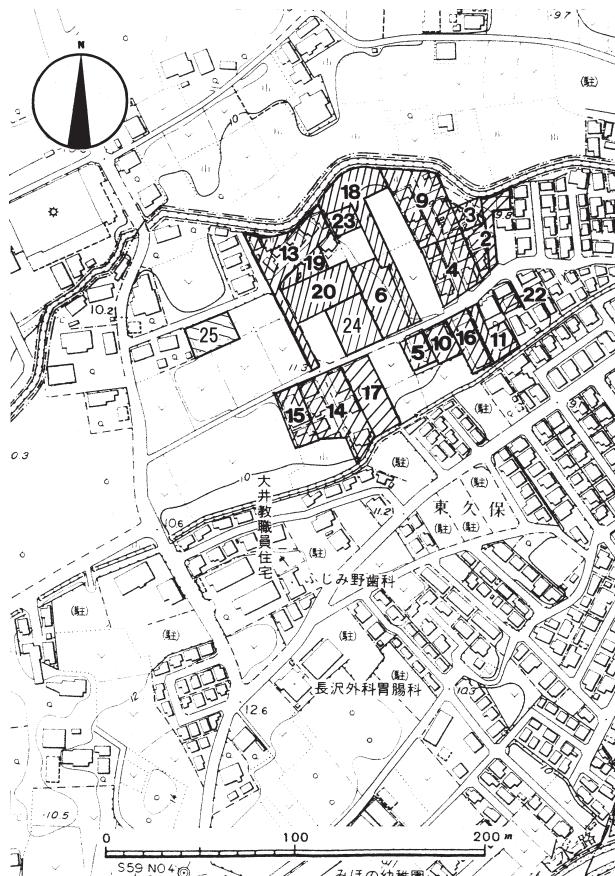


## 第17章 苗間東久保遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

苗間東久保遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約600m、さかい川の谷頭部から約1,800m下った右岸、さかい川と浄禪寺川にはさまれた台地の縁辺に位置し、標高10~11m、現谷底との比高差は1~1.5mを測る。さかい川と本遺跡をのせる南側台地の間に緩やかな斜面を形成している。

周辺の遺跡は、さかい川上流に富士見市中沢遺跡、下流に富士見市外記塚遺跡、浄禪寺川対岸には浄禪寺跡遺跡がある。



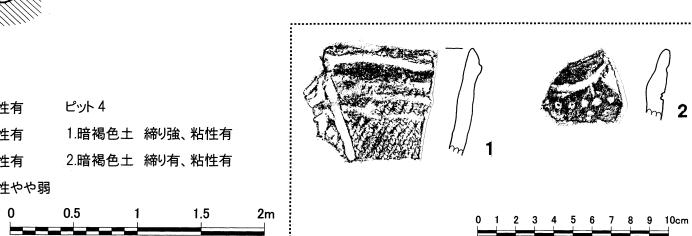
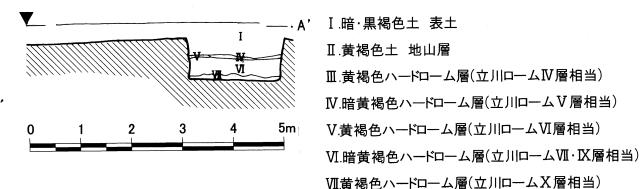
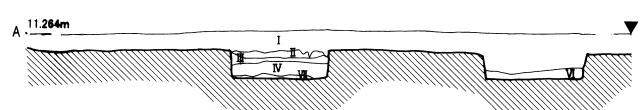
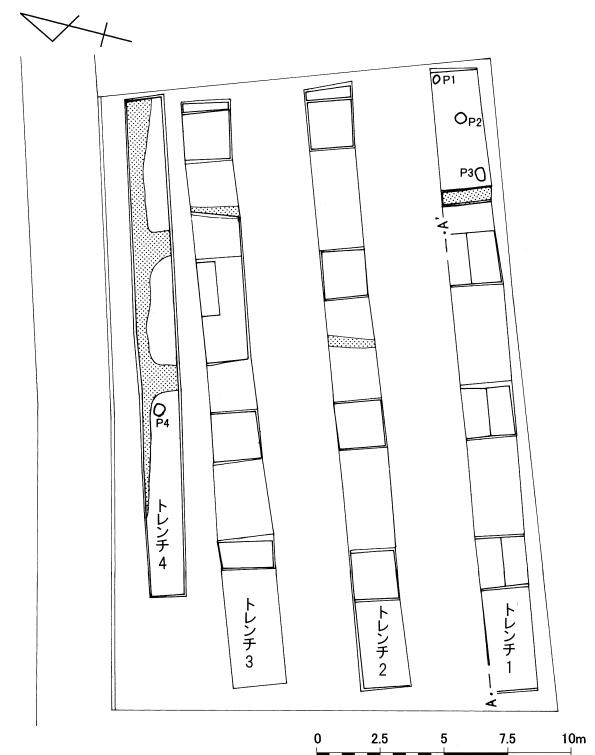
- |                 |                 |                 |                  |
|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|
| ピット 1           | ピット 2           | ピット 3           | ピット 4            |
| 1. 暗褐色土 締り強、粘性有 | 1. 黒褐色土 締り強、粘性有 | 0. 搅乱           | 1. 暗褐色土 締り強、粘性有  |
| 2. 暗褐色土 締り有、粘性有 | 2. 暗褐色土 締り強、粘性有 | 2. 暗褐色土 締り強、粘性有 | 2. 暗褐色土 締り有、粘性有  |
| 3. 暗褐色土 締り強、粘性有 | 3. 暗褐色土 締り強、粘性有 | 3. 暗褐色土 締り強、粘性有 | 4. 暗褐色土 締り有、粘性や弱 |

0 0.5 1 1.5 2m

遺跡周辺は畠が多く見られたが、ふじみ野駅の開設に伴い、個人住宅などの小規模な開発が進みつつある。

本遺跡の最初の調査は1979年に開発に伴う緊急調査として行なわれた。2008年1月現在25ヶ所で試掘調査及び発掘調査が行なわれている。

これまでの調査で縄文時代中期後半~後期中葉の住居跡、落とし穴、土坑、集石土坑、ピット等が多数確認検出されている。



第46図 苗間東久保遺跡の地形と調査区(1/4,000)、第25地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)、ピット(1/60)、出土土器(1/4)

第33表 苗間東久保遺跡調査一覧表

地点	調査年	面積 (m <sup>2</sup> )	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	1979	605	共同住宅	炉穴10、土坑14、加曾利E II式土器・石器	東部遺跡群 I
2	1979	530	共同住宅	住居1、縄文中期後半土器	東部遺跡群 I
3	1980	200	共同住宅	遺構なし、縄文土器細片	東部遺跡群 II
4	1980	750	共同住宅	住居2、土坑6、縄文中期後半土器 他	東部遺跡群 II
5	1980	106	共同住宅	炉穴2、集石1、土坑3、柱穴32、ピット6、縄文早期・後期土器	東部遺跡群 II
6	1980	577		住居2、炉穴4、土坑23、柱穴群、縄文中期後半・称名寺式土器	東部遺跡群 II
7	1982	396	共同住宅	遺構なし、縄文土器細片	東部遺跡群 III
8	1982	360	共同住宅	遺構なし、遺物無し	東部遺跡群 IV
9	1983	660	共同住宅	池状遺構、土坑1、縄文中・後期土器・石器	東部遺跡群 V
10	1984	340		土坑5、ピット45、縄文後期堀之内式土器	未報告
11	1984	560		遺構なし、縄文中期勝坂式土器 他	未報告
12	1984	320	共同住宅	遺構なし、縄文中期加曾利E式土器 他	未報告
13	1984	900		住居2、土坑88、ピット10、縄文堀之内式・加曾利B式土器	大井町史資料 I
14	1987	923		土坑7、ピット92、平安以降ピット6、縄文後期土器	東部遺跡群 IX
15	1988	447	共同住宅	土坑7、ピット21、縄文後期称名寺式・堀ノ内式土器	東部遺跡群 IX
16	1989	390	共同住宅	住居1、土坑2、縄文中期後半・後期前半土器	東部遺跡群 X I
17	1990	583	駐車場	土坑1、縄文前期・後期土器	町内遺跡群 I
18	1992	906	分譲住宅	住居3、落とし穴5、土坑11、ピット14、縄文前期・後期土器	調査会報告5集
19	1994	350	宅地開発	落とし穴1、住居1、土坑5、ピット39、縄文早期後半・後期土器・石器・土製円盤	調査会報告12集
20	1998	664	個人住宅	土坑28、集石土坑5、ピット128、縄文後期土器、旧石器、泥面子	調査会報告12集
21	1999	350	個人住宅	土坑2、縄文土器・石鎌	町内遺跡群 IX
22	2001	99	個人住宅	遺構なし、縄文土器	町内遺跡群 X I
23	2004	104	個人住宅	遺構・遺物なし、	町内遺跡群 X II
24	2006	561	分譲住宅	土坑5、ピット45、縄文早期前半～後期中葉土器・石器	市内遺跡群2
25	2007	414	分譲住宅	ピット3	市内遺跡群4

## II 苗間東久保遺跡第25地点

## (1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2007年6月19日付で「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部北寄りに位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。試掘調査は同年7月11日から23日まで行なった。幅約1.7～2mのトレンチ4本を設定し重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった。調査の結果、ピット4基を検出した。なお、旧石器時代の確認調査を行なったが遺構と遺物は確認されなかった。

写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻して調査を終了した。

## (2) 遺構と遺物

## ①ピット

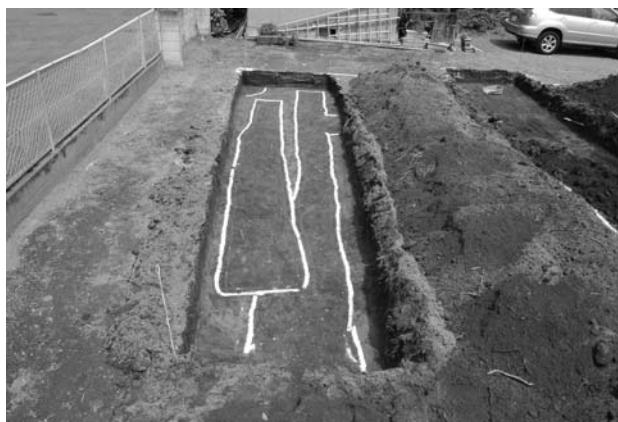
ピット4基を検出したが、覆土層の観察から縄文時代の時期とみられる。

第34表 苗間東久保遺跡第25地点ピット一覧表 (単位:cm)

遺構名	平面形態	確認面径	底径	深さ
P1	楕円形	25×18	14×12	11.6
P2	円形	39×32	23×22	47
P3	不明	50×(37)	17×17	53.7
P4	楕円形	54×43	25×18	11.6

## ②出土土器

出土土器は表土層から採取したもので、全て破片である。1は口縁部に横位隆帯を巡らし、胴部は地文L R縄文に沈線文を施す堀之内1式。2は沈線に円形刺突文を施す称名寺Ⅲ式である。



神明後遺跡第31地点試掘調査トレンチ 1



神明後遺跡第31地点試掘調査トレンチ 4



神明後遺跡第31地点土坑 1・2



神明後遺跡第32地点試掘調査トレンチ 1



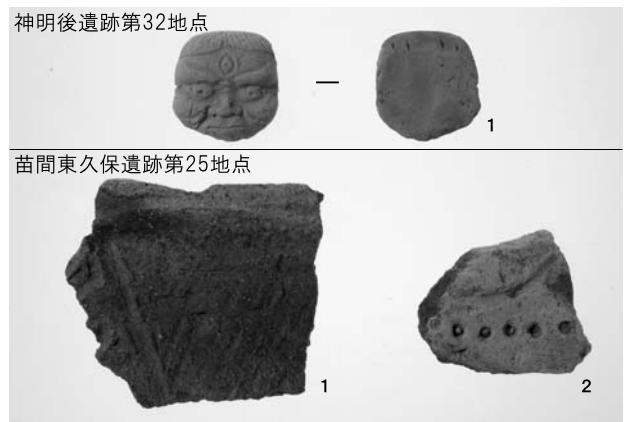
神明後遺跡第32地点試掘調査トレンチ 2



苗間東久保遺跡第25地点試掘調査全景



苗間東久保遺跡第25地点試掘調査トレンチ 1、ピット 1～3



神明後遺跡第32地点・苗間東久保遺跡第25地点  
出土遺物